

昼間のデイ・ライト(昼間点灯) で交通事故防止を

「**デイ・ライト**(昼間点灯)」は他の運転者や歩行者等に自分の車の存在や位置などを相手に認識してもらうことで交通事故の防止を図ることができます。

遠くからでも確認されやすく、ドアミラーやカーブミラーでも確認されやすくなり、特に、冬期間の雪の日や夏期の雨や曇りの日は歩行者がうっかり見落とすことも少なくなるという効果があります。

車を運転する時は、「**デイ・ライト**」で交通事故防止をお願いいたします。

夜間や早朝のハイビーム(遠目) で交通事故防止を

歩行者被害事故の多くは、16時～20時までの時間帯が最も多く発生しています。

このことから、ドライバーは道路を横断する歩行者をいち早く発見し事故を回避することが重要で、夜間や早朝は「**ハイビーム**(遠目)」で走行することでロービームに比べかなり広い視界が得られ、事故防止に効果的です。野生動物との衝突事故を防ぐためにも、スピードダウンとともにハイビームが効果的です。他に車両がない場合は、こまめにハイビームに切り替えて視界を広くして安全運転に努めましょう。